



平成23年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年2月10日

上場会社名 森永乳業株式会社

上場取引所 東大

コード番号 2264 URL <http://www.morinagamilk.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 古川 紘一

問合せ先責任者 (役職名) 取締役兼常務執行役員広報部長 (氏名) 田形 均

TEL 03-3798-0126

四半期報告書提出予定日 平成23年2月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年3月期第3四半期の連結業績(平成22年4月1日～平成22年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第3四半期	459,325	0.3	18,890	4.3	18,845	3.9	9,193	△7.3
22年3月期第3四半期	457,947	0.6	18,118	50.0	18,136	52.6	9,916	94.9

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年3月期第3四半期	36.63	36.55
22年3月期第3四半期	39.27	39.20

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年3月期第3四半期	370,024	111,753	29.7	438.57
22年3月期	357,880	103,635	28.4	405.26

(参考) 自己資本 23年3月期第3四半期 110,054百万円 22年3月期 101,704百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年3月期	—	—	—	7.00	7.00
23年3月期	—	—	—	—	—
23年3月期 (予想)	—	—	—	7.00	7.00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 無

3. 平成23年3月期の連結業績予想(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	588,000	0.5	17,700	3.5	17,500	2.8	6,000	△25.2	23.91

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 無

4. その他（詳細は、【添付資料】2ページ「2. その他の情報」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 無

新規 一社（社名 ）、除外 一社（社名 ）

（注）当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 有

（注）簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

（注）「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む） 23年3月期3Q 253,977,218株 22年3月期 253,977,218株

② 期末自己株式数 23年3月期3Q 3,038,005株 22年3月期 3,018,930株

③ 期中平均株式数（四半期累計） 23年3月期3Q 250,939,636株 22年3月期3Q 252,506,901株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続が実施中であります。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の予想は、本資料発表日現在において入手可能な情報あるいは想定できる市場動向などを前提としており、不確実性が含まれています。実際の業績は、今後の様々な要因により、予想と異なる結果となる可能性があります。なお、上記業績予想に関する事項は、【添付資料】2ページ「1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報（3）連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. その他の情報	2
(1) 重要な子会社の異動の概要	2
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	2
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書	6
(3) 継続企業の前提に関する注記	7
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	7
4. 補足情報	8

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、種々の政策効果や海外経済の改善によって緩やかな回復基調をたどりましたが、年度後半に入って景気刺激策の反動や、円高による輸出の低下などから、足踏み状態が続いています。また、依然として厳しい雇用情勢やデフレの影響などから、引き続き景気の先行きは不透明な状況にあります。

食品業界におきましても、消費者の節約志向、低価格志向が定着し、厳しい経営環境が続いております。

このような環境のもとで、当社グループは、お客さまのニーズにお応えした商品の開発、改良に努めるとともに、厳しい市場環境の中で、積極的に販売促進活動を行ってまいりました。一方で、原材料の有利調達および生産・物流の合理化や経費の削減など、各部門において引き続き、ローコストオペレーションに取り組みました。

これらの結果、森永乳業単体の売上高は、アイスクリーム、バター、ヨーグルトなどが前年同期実績を上回りましたが、牛乳類、乳飲料、プリンなどが前年同期実績を下回り、合計で3,491億1千4百万円（前年同期比0.9%減）となりました。一方、連結子会社の売上高が前年同期実績を上回り、当社グループの連結売上高は4,593億2千5百万円（前年同期比0.3%増）となりました。

連結の利益面では、営業利益188億9千万円（前年同期比4.3%増）、経常利益188億4千5百万円（前年同期比3.9%増）となりました。四半期純利益は、投資有価証券の評価損の計上により91億9千3百万円（前年同期比7.3%減）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末の資産の部は、当四半期末が金融機関休業日であったことなどにより「現金及び預金」や「受取手形及び売掛金」が増加したため、前連結会計年度末に比べ121億4千4百万円増の3,700億2千4百万円となりました。

負債の部は、借入金及び社債は減少しましたが、資産の部と同様に当四半期末が金融機関休業日であったことなどにより「支払手形及び買掛金」や「その他流動負債」が増加したため、前連結会計年度末に比べ40億2千5百万円増の2,582億7千1百万円となりました。

純資産の部は、「利益剰余金」が増加したことなどにより、前連結会計年度末に比べ81億1千8百万円増の1,117億5千3百万円となりました。

この結果、自己資本比率は前連結会計年度末の28.4%から29.7%に、1株当たり純資産額は前連結会計年度末の405.26円から438.57円となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成23年3月期の通期連結業績につきましては、平成22年11月5日に公表した予想数値に変更はありません。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

①簡便な会計処理

棚卸資産の評価方法

当第3四半期連結会計期間末の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し前連結会計年度末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算出しております。

また、棚卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積り、簿価切下げを行っております。

繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等に著しい変化が生じておらず、かつ、一時差異等の発生状況に大幅な変動がないと認められるため、前連結会計年度末において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

②特有の会計処理

税金費用の計算

税金費用については、当社（提出会社）及び連結子会社において当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実行税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実行税率を乗じて計算する方法によっております。

なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

①資産除去債務に関する会計基準の適用

第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」（企業会計基準第18号 平成20年3月31日）及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日）を適用しております。

この変更により、従来の方によった場合と比べ、当第3四半期連結累計期間の売上総利益は9百万円、営業利益及び経常利益はそれぞれ10百万円、税金等調整前四半期純利益は274百万円減少しております。また、当会計基準等の適用開始による資産除去債務の変動額は350百万円であります。

②企業結合に関する会計基準等の適用

第1四半期連結会計期間より、「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成20年12月26日）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成20年12月26日）、「「研究開発費等に係る会計基準」の一部改正」（企業会計基準第23号 平成20年12月26日）、「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第7号 平成20年12月26日）、「持分法に関する会計基準」（企業会計基準第16号 平成20年12月26日公表分）及び「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第10号 平成20年12月26日）を適用しております。

③「持分法に関する会計基準」及び「持分法適用関連会社の会計処理に関する当面の取扱い」の適用

第1四半期連結会計期間より、「持分法に関する会計基準」（企業会計基準第16号 平成20年3月10日公表分）及び「持分法適用関連会社の会計処理に関する当面の取扱い」（実務対応報告第24号 平成20年3月10日）を適用しております。

これによる損益に与える影響はありません。

【追加情報】

（退職給付制度の変更）

当社は平成22年10月1日付けで退職年金制度を改定し、適格退職年金制度から規約型確定給付企業年金制度（キャッシュバランスプラン）へ移行いたしました。

上記の移行に伴い、退職給付債務（過去勤務債務）は413百万円増加し、当該過去勤務債務は、その発生時の従業員の平均残存勤務期間（19.7年）による定額法により均等償却を行っております。

これにより当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ5百万円減少しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	20,789	12,910
受取手形及び売掛金	55,624	49,702
商品及び製品	24,181	27,382
仕掛品	954	973
原材料及び貯蔵品	6,879	6,992
その他	17,839	13,927
貸倒引当金	△1,126	△1,176
流動資産合計	125,141	110,712
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	70,605	72,449
機械装置及び運搬具（純額）	56,729	60,072
土地	72,413	71,725
その他（純額）	13,986	12,086
有形固定資産合計	213,735	216,334
無形固定資産	5,425	5,517
投資その他の資産		
投資有価証券	14,604	14,051
その他	11,387	11,663
貸倒引当金	△270	△398
投資その他の資産合計	25,721	25,315
固定資産合計	244,882	247,167
資産合計	370,024	357,880

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	70,369	59,365
短期借入金	5,178	6,870
1年内返済予定の長期借入金	5,467	5,997
1年内償還予定の社債	—	10,000
未払法人税等	4,154	3,619
未払費用	27,478	29,854
その他	32,445	22,314
流動負債合計	145,094	138,022
固定負債		
社債	60,000	60,000
長期借入金	30,344	33,147
退職給付引当金	11,640	11,668
その他	11,192	11,406
固定負債合計	113,176	116,222
負債合計	258,271	254,245
純資産の部		
株主資本		
資本金	21,704	21,704
資本剰余金	19,442	19,442
利益剰余金	71,014	63,522
自己株式	△1,135	△1,129
株主資本合計	111,025	103,539
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△693	△1,833
繰延ヘッジ損益	△6	35
為替換算調整勘定	△271	△37
評価・換算差額等合計	△970	△1,835
新株予約権	164	142
少数株主持分	1,533	1,788
純資産合計	111,753	103,635
負債純資産合計	370,024	357,880

(2) 四半期連結損益計算書
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)
売上高	457,947	459,325
売上原価	316,024	313,417
売上総利益	141,922	145,908
販売費及び一般管理費	123,804	127,017
営業利益	18,118	18,890
営業外収益		
受取利息	80	72
受取配当金	365	362
受取家賃	369	389
持分法による投資利益	153	144
その他	710	670
営業外収益合計	1,679	1,639
営業外費用		
支払利息	1,298	1,430
その他	363	253
営業外費用合計	1,661	1,684
経常利益	18,136	18,845
特別利益		
固定資産売却益	1	67
負ののれん発生益	—	115
補助金収入	336	294
移転補償金	45	—
その他	—	12
特別利益合計	383	489
特別損失		
固定資産処分損	551	301
(財)ひかり協会負担金	1,331	1,332
減損損失	12	5
投資有価証券売却損	281	0
投資有価証券評価損	—	2,104
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	263
その他	208	13
特別損失合計	2,384	4,020
税金等調整前四半期純利益	16,135	15,314
法人税等	6,065	6,131
少数株主損益調整前四半期純利益	—	9,183
少数株主利益又は少数株主損失(△)	153	△9
四半期純利益	9,916	9,193

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

4. 補足情報

第3四半期販売実績(単体)

(注)第3四半期は累計期間(4月1日から12月31日)

(単位:百万円)

製品分類	平成23年3月期 第3四半期実績		
	金額	前同差	前同比(%)
市乳計	156,138	△ 8,181	95.0
牛乳類	59,481	△ 4,890	92.4
乳飲料等	51,029	△ 2,113	96.0
ヨーグルト	35,911	592	101.7
プリン等	9,715	△ 1,770	84.6
乳製品	73,560	371	100.5
練乳	3,275	54	101.7
粉乳	27,446	△ 1,033	96.4
バター	9,687	1,092	112.7
チーズ	33,151	259	100.8
アイスクリーム	44,384	3,054	107.4
その他計	75,030	1,620	102.2
飲料	23,993	191	100.8
その他	51,037	1,428	102.9
合計	349,114	△ 3,134	99.1

(注)その他のその他には、ゼリー、クリーム類などが含まれる

※上記の個別売上高については、法定開示におけるレビュー対象ではありません。